

テーマ「あなたにとってのまちなかとは？」

本市では、民間事業者・地域団体・地域住民・行政等が一体となり、まちなか(※)において持続可能で歩いて暮らせるまちづくりを実現するため、官民連携のエリアプラットフォームによりまちづくりに取り組んでいます。 ※ここで言う「まちなか」とは、駅前・大町・中町・清水台・堂前・本町を指します。継続的なエリアマネジメントの推進にあたり、市民の皆さまのまちなかに対する想いや様々なニーズを把握し、今後のまちなか活性化に向けて参考にさせていただくため、アンケートを実施いたしましたので、その結果についてお知らせします。(都市政策課)

【調査概要】

- 調査期間 2024年6月5日(水)～6月14日(金) (10日間)
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を返信
- モニター数 411名 (男性 173名 女性 237名 不明 1名)
- 回答者数 381名 (男性 162名 女性 218名 不明 1名)
- 回答率 92.7%

【分析】

＜＜回答者内訳＞＞

(人)

性 年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	全体
男性	1	6	9	32	42	29	27	16	162
女性	2	7	34	67	58	39	10	1	218
不明				1					1
合計	3	13	43	100	100	68	37	17	381

《第1章 まちなかの来訪状況について》

- ・来訪頻度について、全体の67.5%が「月に1～2回」以上と回答。(問1)
- ・滞在時間について、全体の60.6%が「1時間～3時間未満」と回答。(問2)
- ・立ち寄り箇所数について、全体の43.3%が「2か所」と回答。(問3)
- ・来訪目的について、全体の82.7%が「買物」と回答し、次いで37.3%が「食事」と回答。(問4)
- ・交通手段について、全体の73.8%が「自動車」と回答。(問6)

《第2章 まちなかのイメージについて》

- ・安全・安心に歩くことができるかについて、全体の65.6%が「そう思う」と回答。(問7)
- ・歩いて楽しいと感じることができるかについて、全体の37.0%が「感じる」と回答。(問8)
- ・魅力を感じるかについて、全体の34.4%が「魅力を感じる」と回答。(問9)
- ・まちなかに必要な魅力について、全体の49.1%が「ゆっくりくつろげる場所」と回答。(問11)

《第3章 まちづくりについて》

- ・興味・関心のあるまちづくりについて、屋外空間及び空き店舗等の「活用」についてそれぞれ半数以上の人が回答。(問12)
- ・まちづくりに実際に参画したいかについて、全体の51.7%が「参画してみたい」と回答。

【考察】

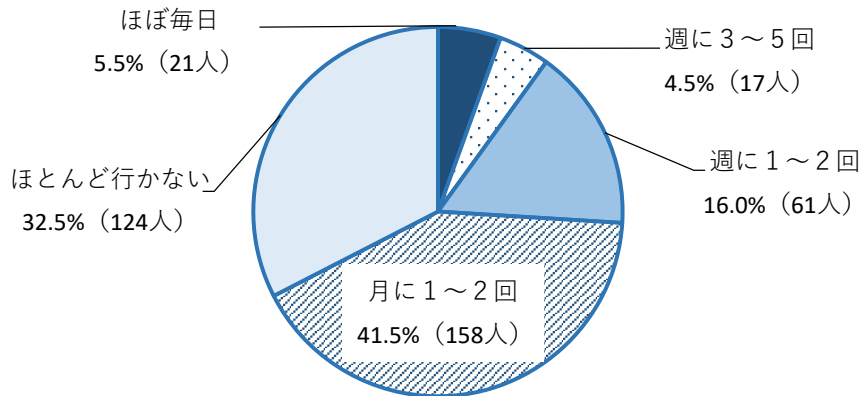
- ・本調査では、買物・食事を目的として2か所を1～3時間滞在するという回答が多くなっており、「まちなかの滞留・回遊性」が課題となっている。目的の多様化や問11で回答の多かった「ゆっくりくつろげる場所」をつくることなどによる、「まちなかの魅力的な滞在環境づくり」が必要である。
- ・まちなかに魅力を感じない、歩いて楽しいと感じないと回答した30代の割合は約半数と他世代に比べとも高く、その約7割の方はまちなかへ「親子」で出かけると回答している。「親子で楽しめるところが少ない」などの意見もあったことから、「子育て世帯の目線に立ったまちづくり」も必要と考えられる。
- ・自由記述においては、「駐車場」の単語が頻出しており、交通機関や交通の便に関する意見も見られた。まちなかへの交通手段は7割以上の方が「車」と回答しており、周辺駐車場や公共交通機関等も踏まえた「居心地がよく歩きたくなるまちづくり」が必要である。

※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

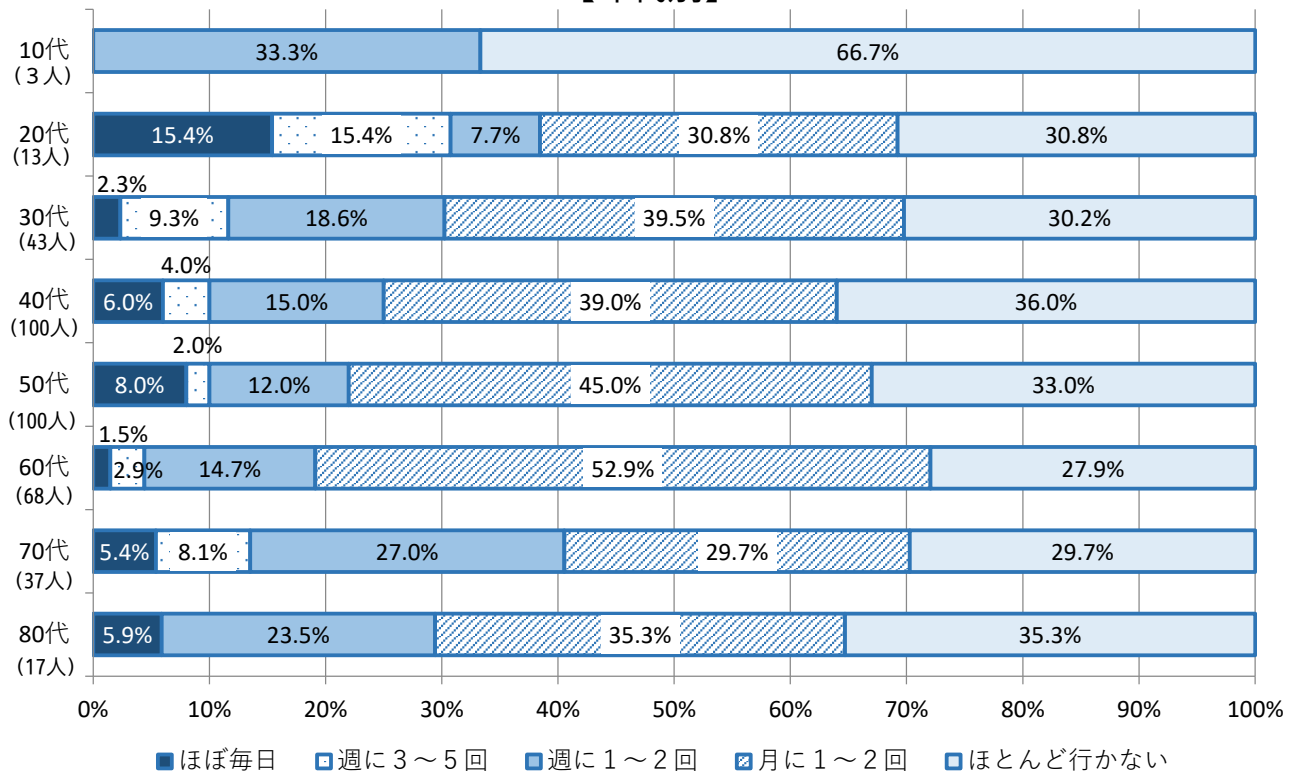
第1章 まちなかの来訪状況について

問1 まちなかへどのくらい訪れますか？（1つ選択）

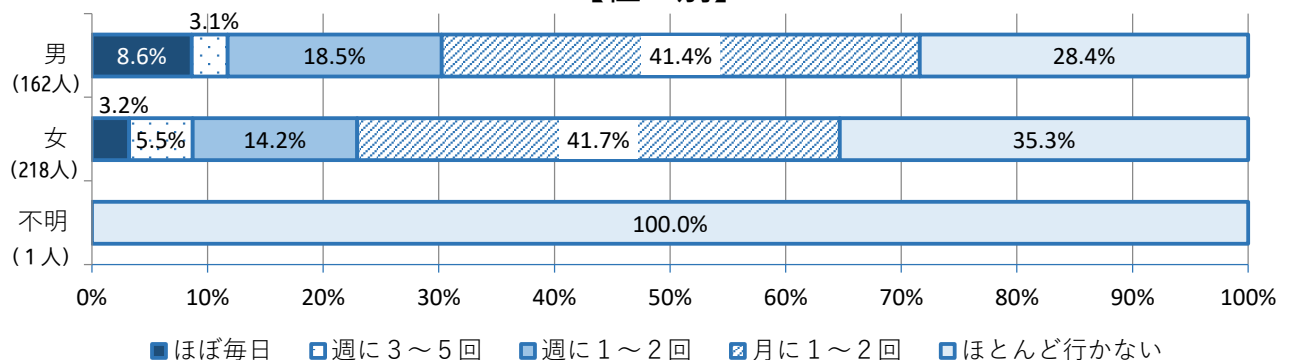
（回答者：381人）



【年代別】



【性別】

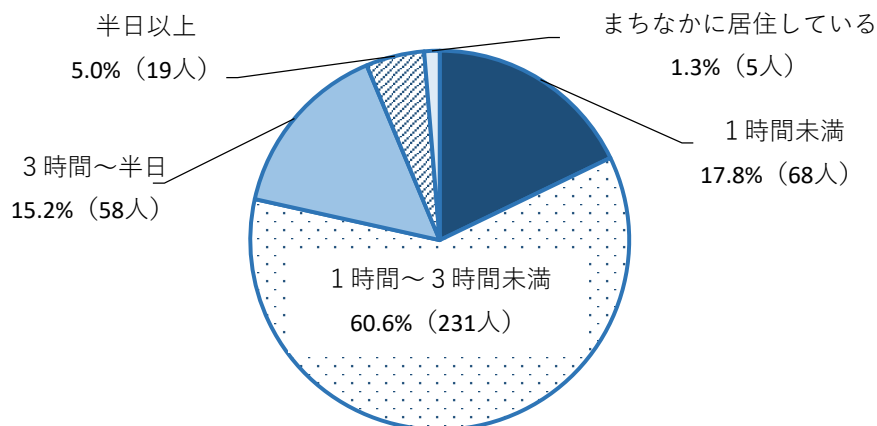


来訪頻度について、全体の67.5%が「月に1～2回」以上と回答した。

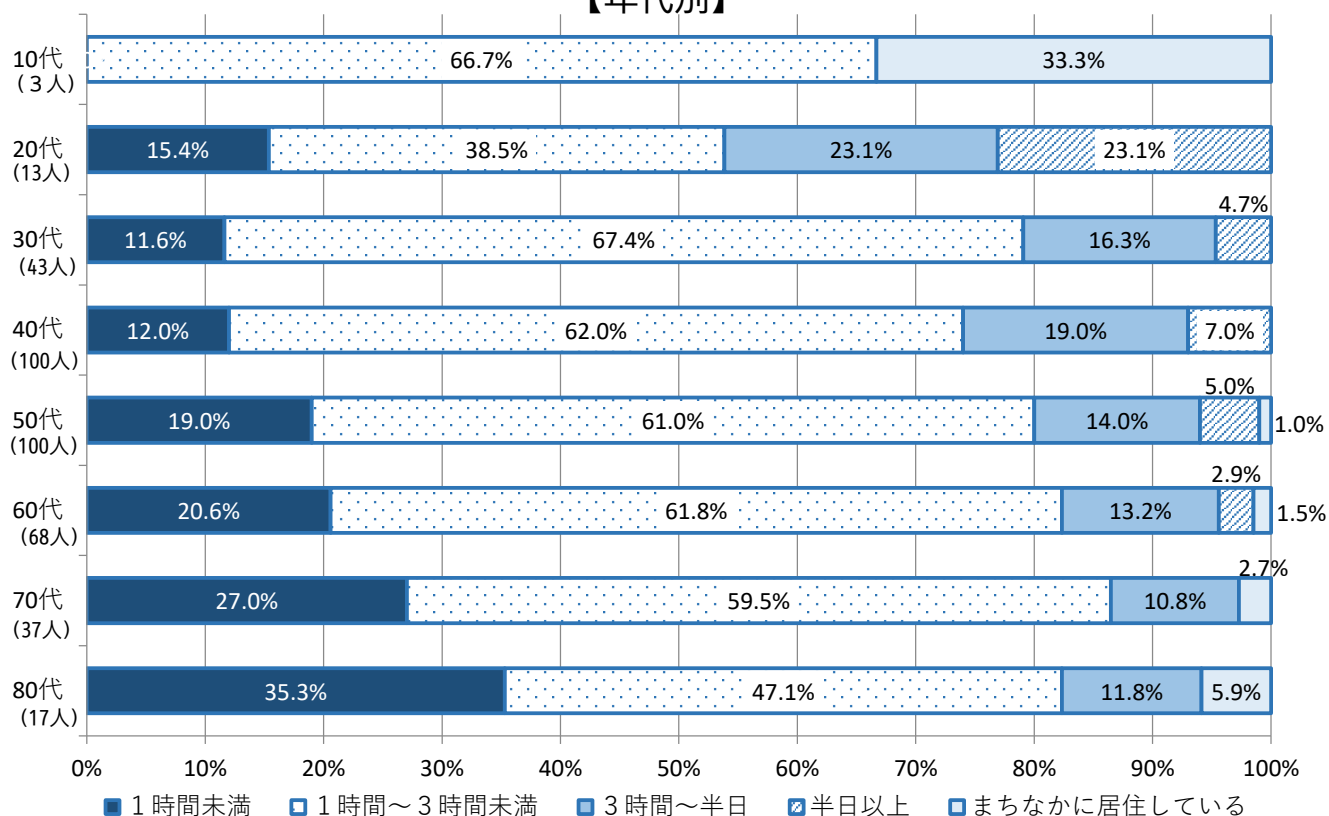
一方、「ほとんど行かない」の回答数は、前回調査（平成30年度）より5.9ポイント増加したため、幅広い世代でまちなかを活用してもらえるような取組が必要である。

問2 まちなかに来た時に、どのくらい滞在しますか？（1つ選択）

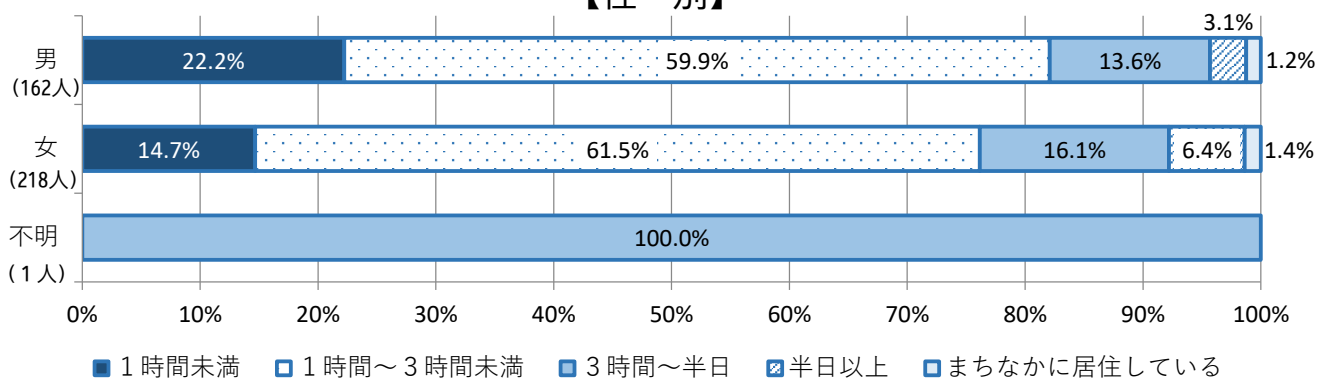
（回答者：381人）



【年代別】



【性別】

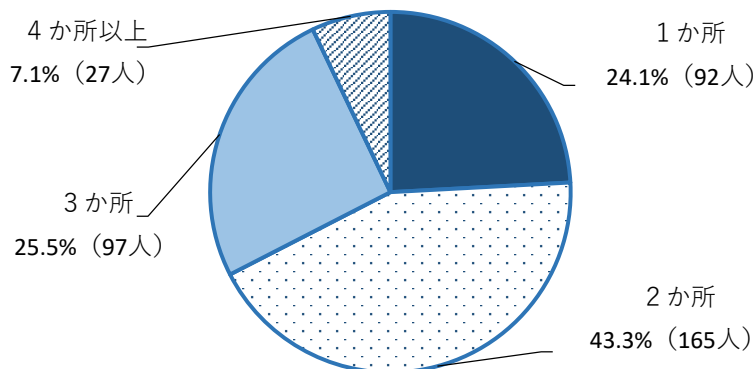


滞在時間について、全体の60.6%が「1時間～3時間未満」と回答した。

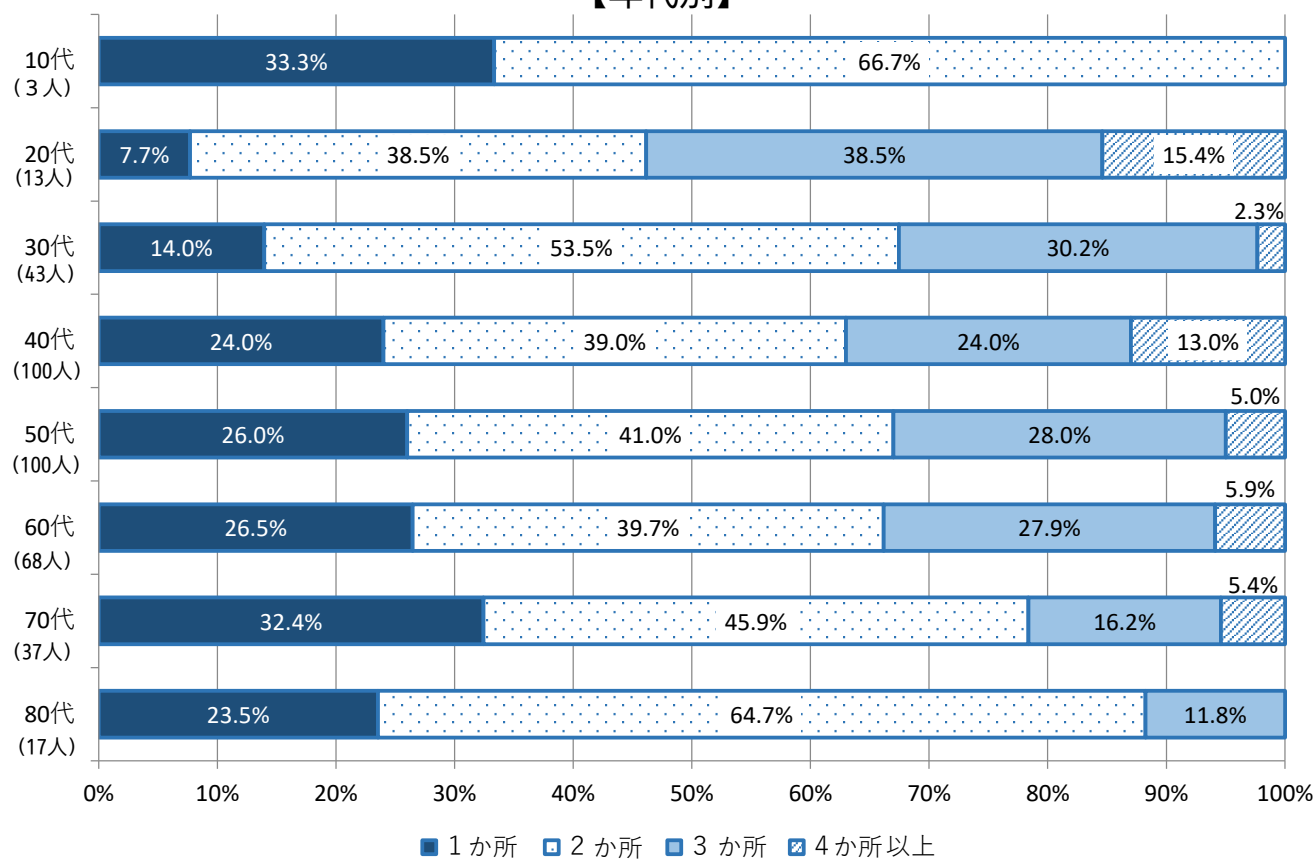
年代が上がるにつれて「1時間未満」と回答した人の割合が高くなる傾向があり、20代では「半日以上」と回答した人の割合がほかの年代に比べ倍以上となった。

問3 まちなかに来た時に、立ち寄る場所は平均何箇所程度ですか？（1つ選択）

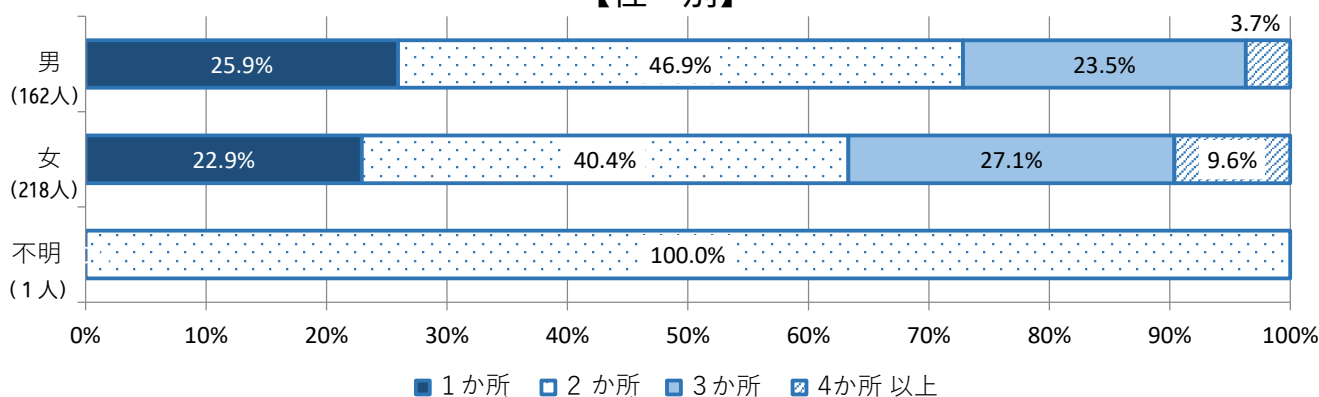
（回答者：381人）



【年代別】



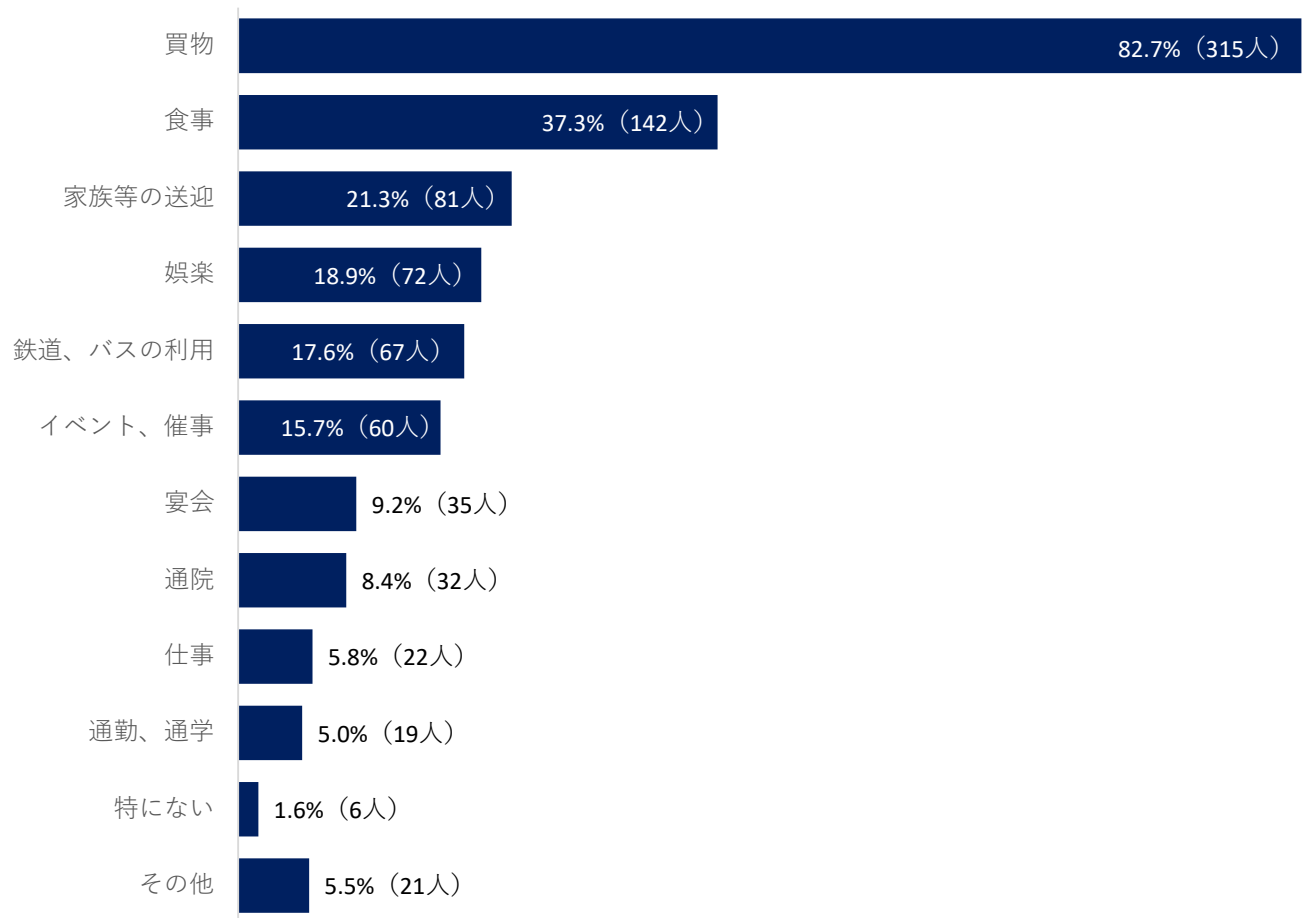
【性別】



立ち寄り箇所数について、全体の43.3%が「2 か所」と回答した。
年代別で比較すると20代、性別で比較すると女性の方が「3 か所」以上と回答した人の割合が高くなっており、高年代・男性の回遊性が課題である。

※複数回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。
したがって、すべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。

問4 まちなかを訪れる主な目的は何ですか？（3つまで選択可）（回答者：381人）

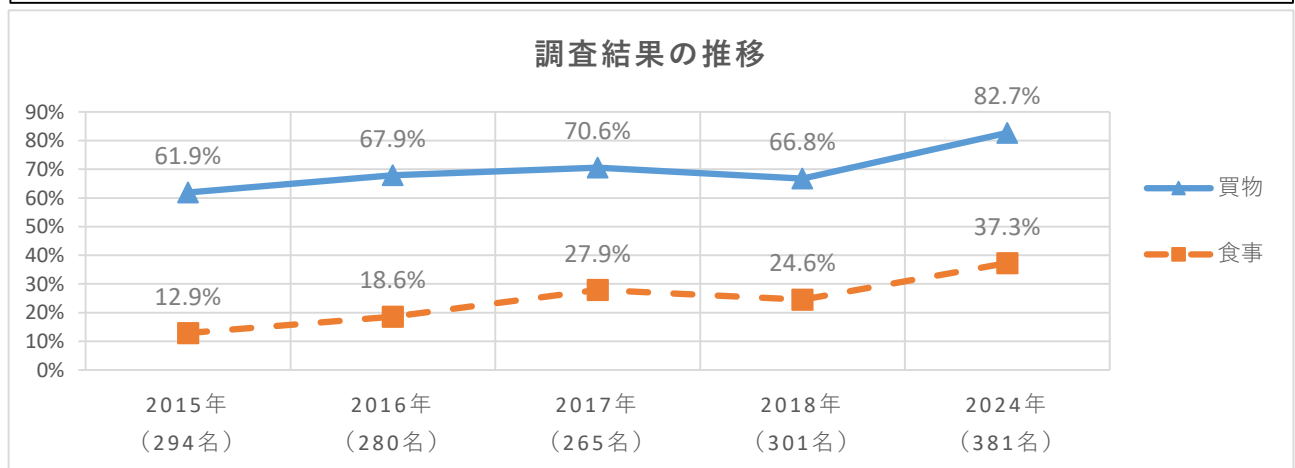


※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ 献血
- ・ 美容室
- ・ 銀行
- ・ 塾
- ・ 新幹線を見る など

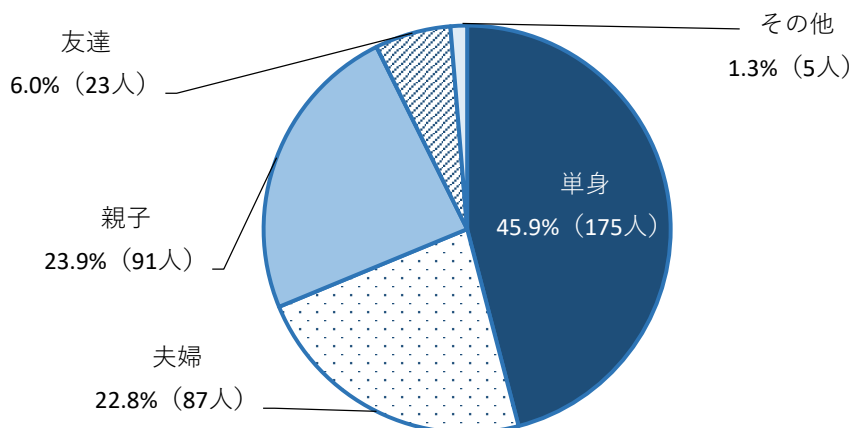
来訪目的について、全体の82.7%が「買物」と回答し、次いで「食事」（37.3%）、「家族等の送迎」（21.3%）となった。

「買物」「食事」の回答率については、以下のとおり増加傾向となっている。

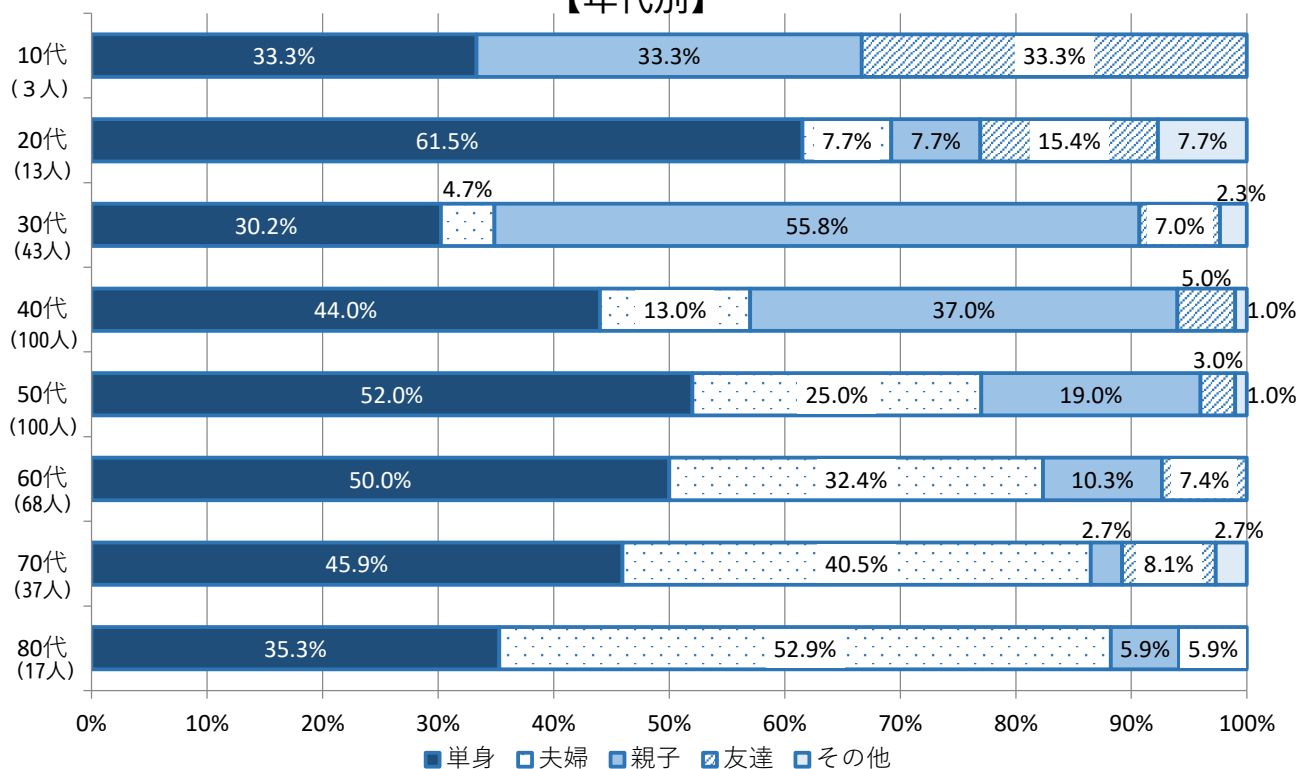


問5 まちなかへ行く時は、誰と出かけることが多いですか？（1つ選択）

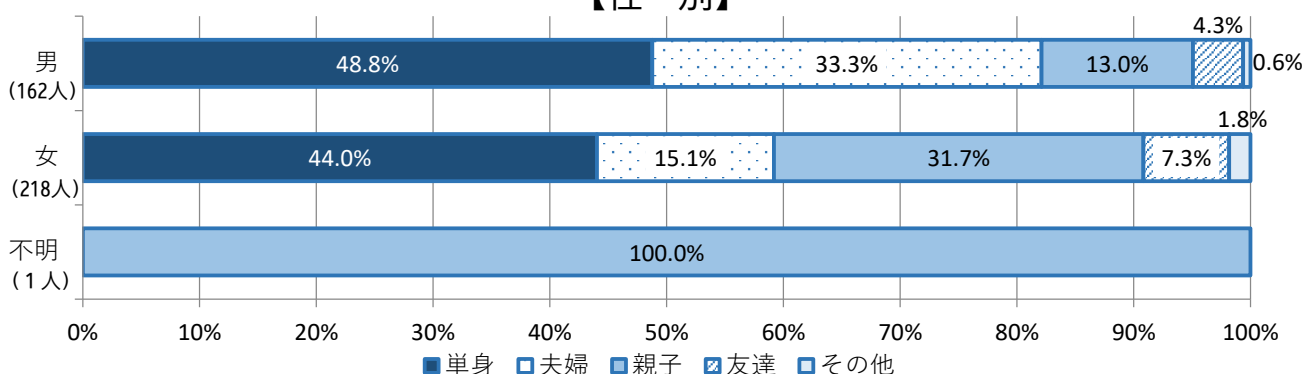
（回答者：381人）



【年代別】



【性別】



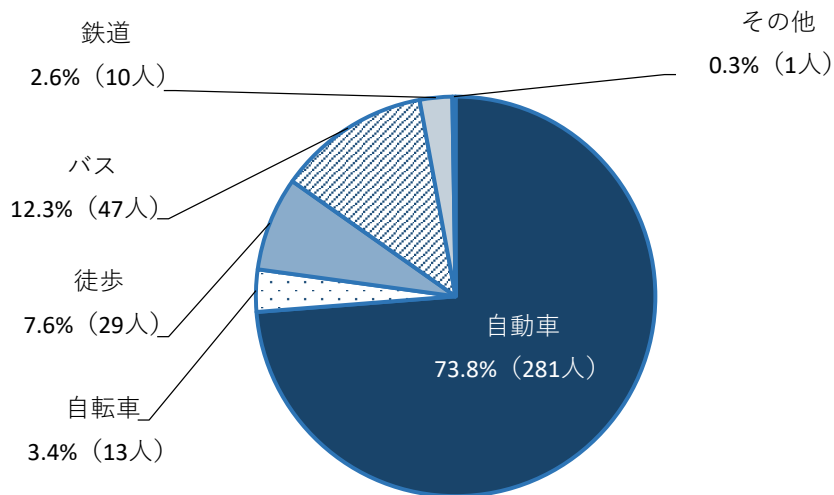
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ 同僚

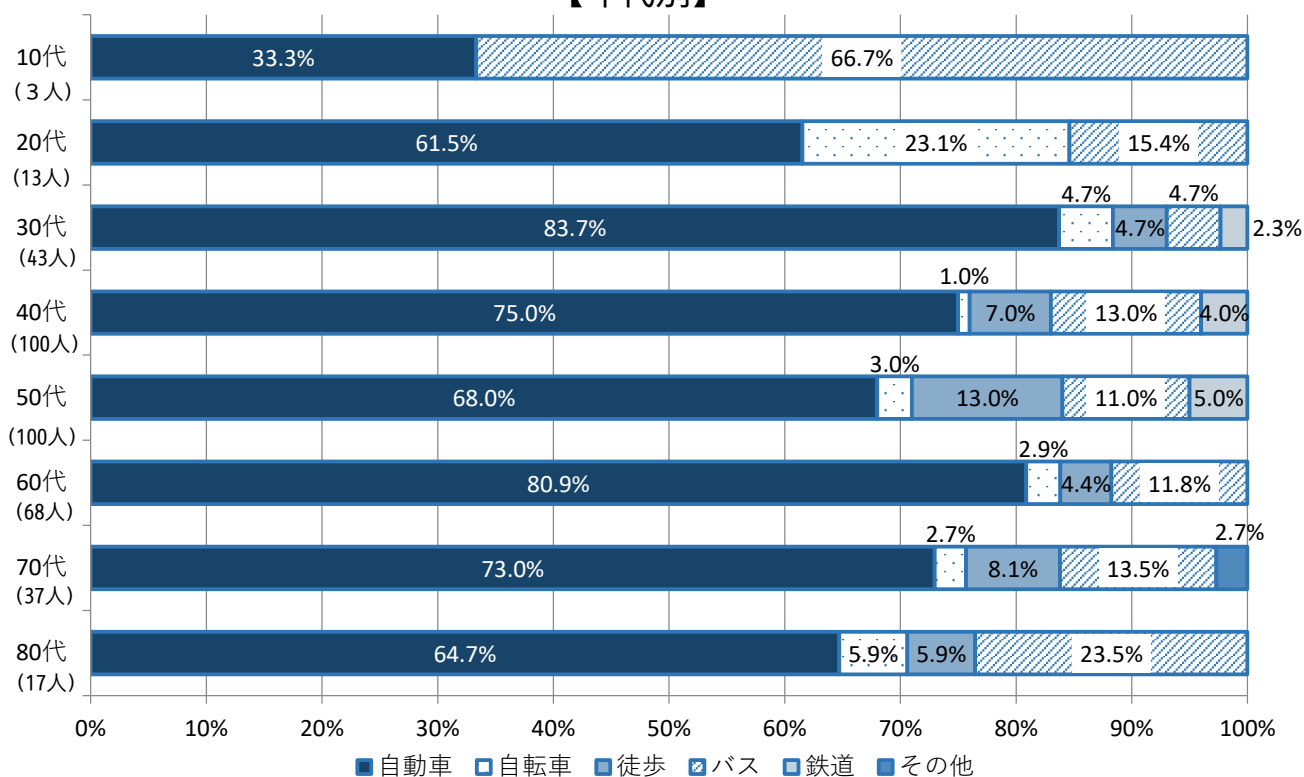
誰とまちなかへ出かけるかについて、全体の45.9%が「単身」と回答した。
「単身」以外では、10～20代では「友達」、30～50代では「親子」の回答率が高く、「夫婦」の回答比率は年代が上がるにつれて増加する傾向がみられた。
男性では「夫婦」、女性では「親子」と回答した人の割合が高かった。

問6 まちなかへ行く際に利用する主な交通手段は何ですか？（1つ選択）

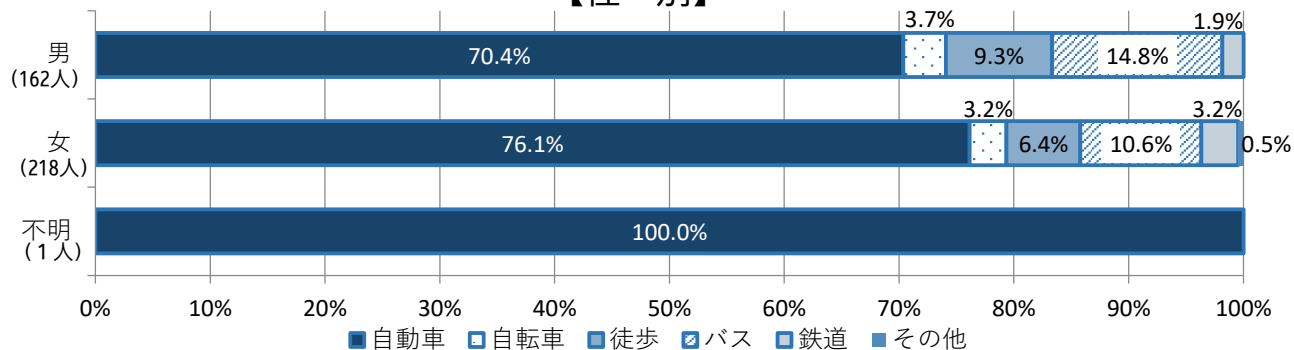
（回答者：381人）



【年代別】



【性別】



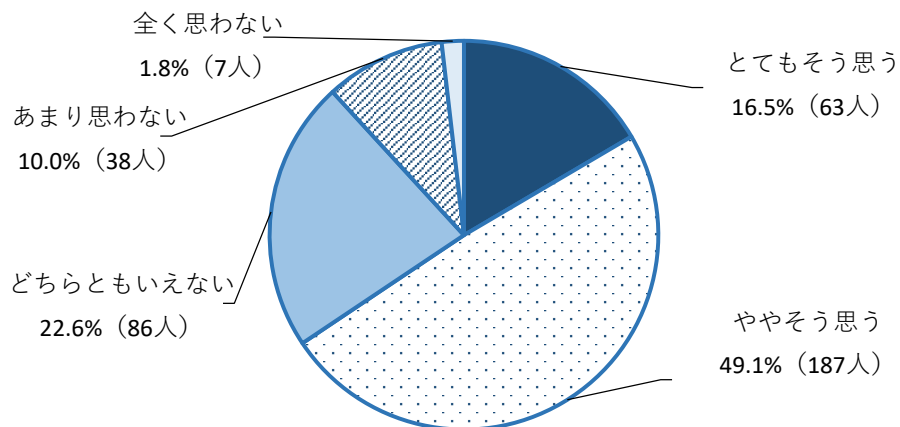
交通手段について、全体の73.8%が「自動車」と回答した。

20代では「自転車」、50代では「徒歩」、80代では「バス」と回答した人の割合がほかの年代に比べ大きくなった。

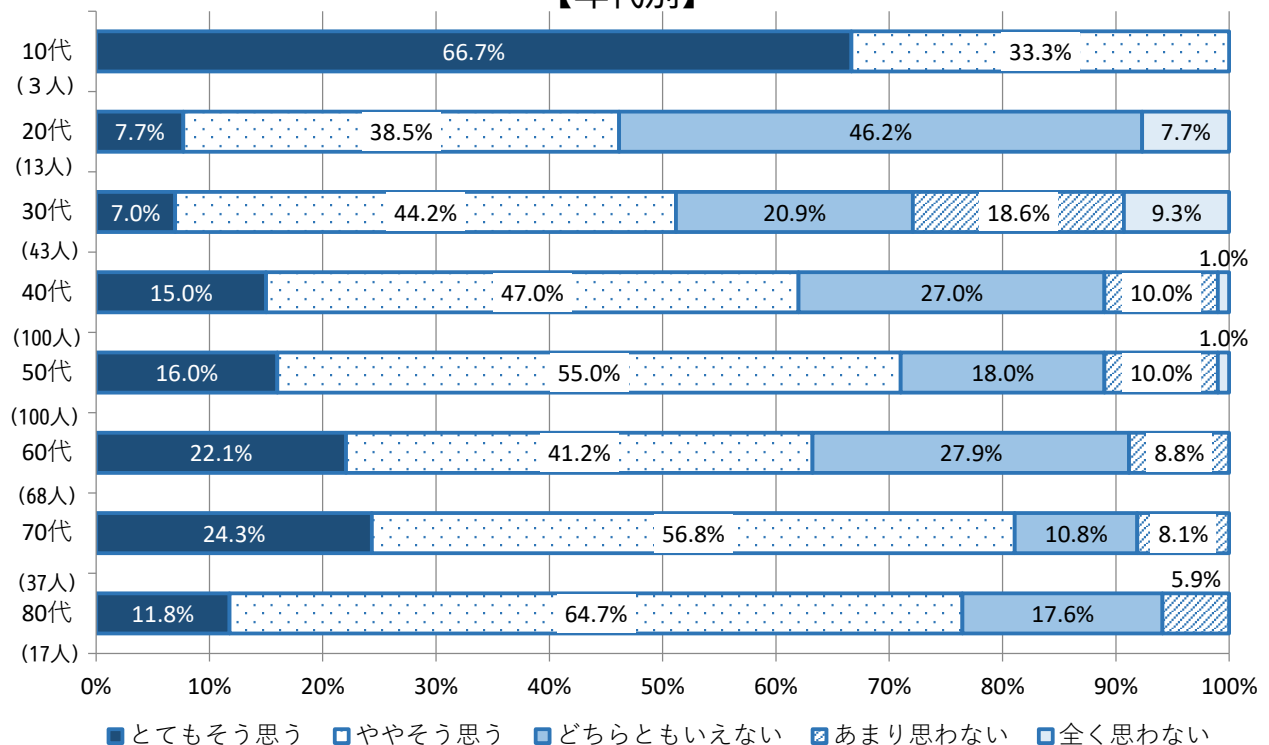
第2章 まちなかのイメージについて

問7 まちなかを安全・安心に歩くことができますか？（1つ選択）

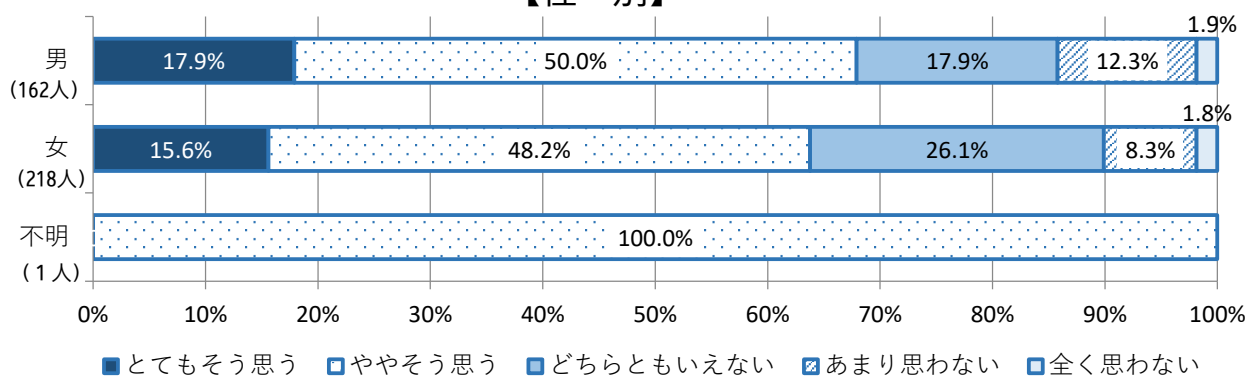
（回答者：381人）



【年代別】



【性 別】

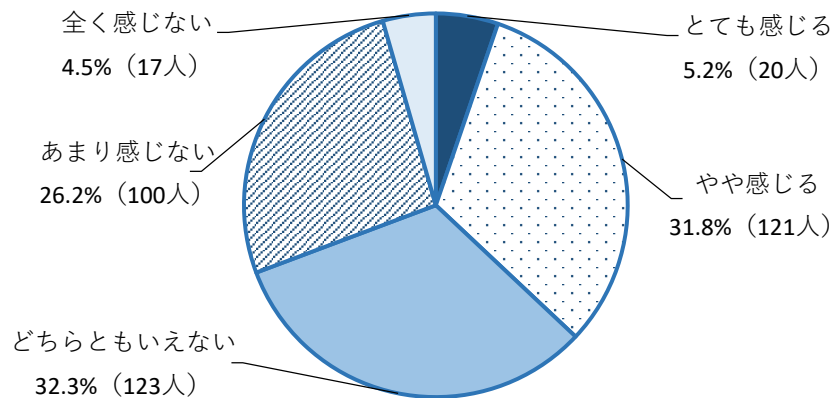


安全・安心に歩くことができるかについて、全体の65.6%が「そう思う」と回答した。

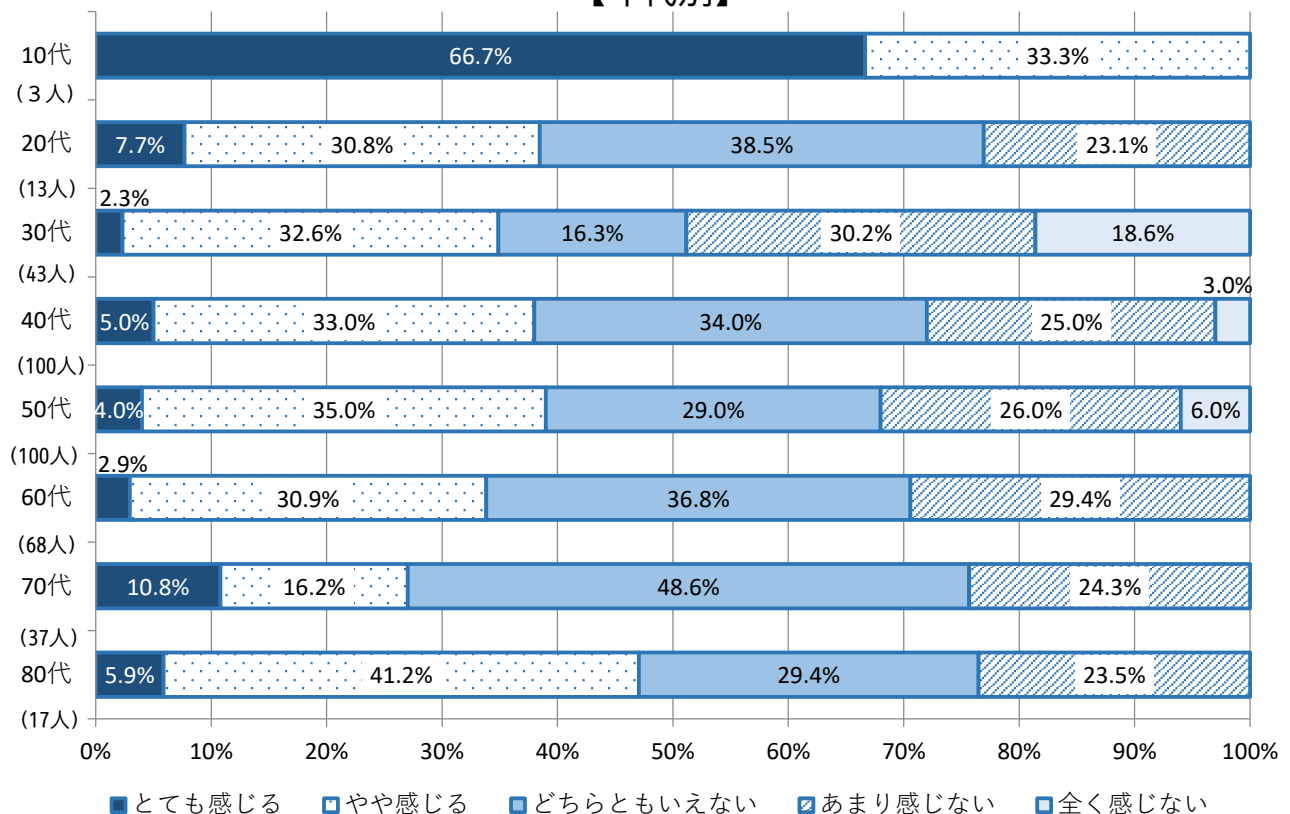
「とてもそう思う」と回答した人の割合は、年代が上がるにつれて増加する傾向がみられ、30代では「思わない」と回答した割合がほかの年代に比べ大きくなった。

問8 まちなかを歩いていて楽しいと感じることができますか？（1つ選択）

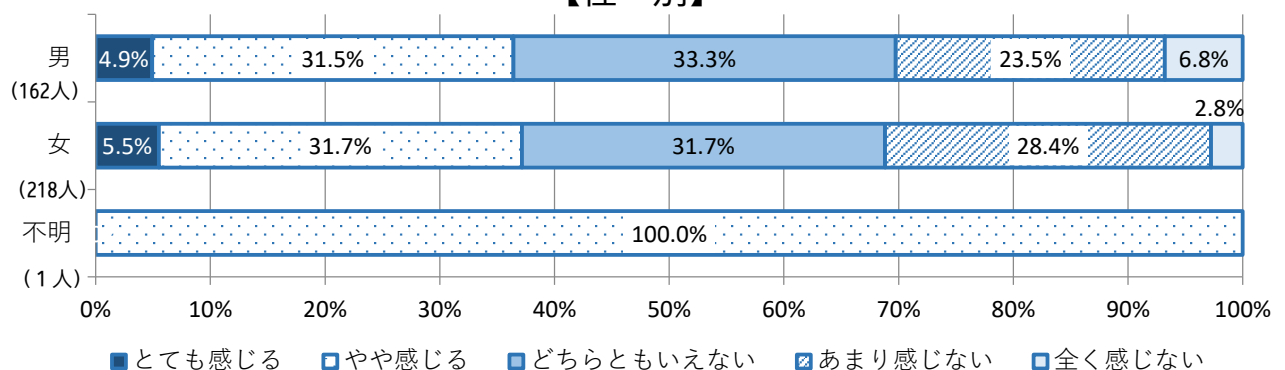
（回答者：381人）



【年代別】



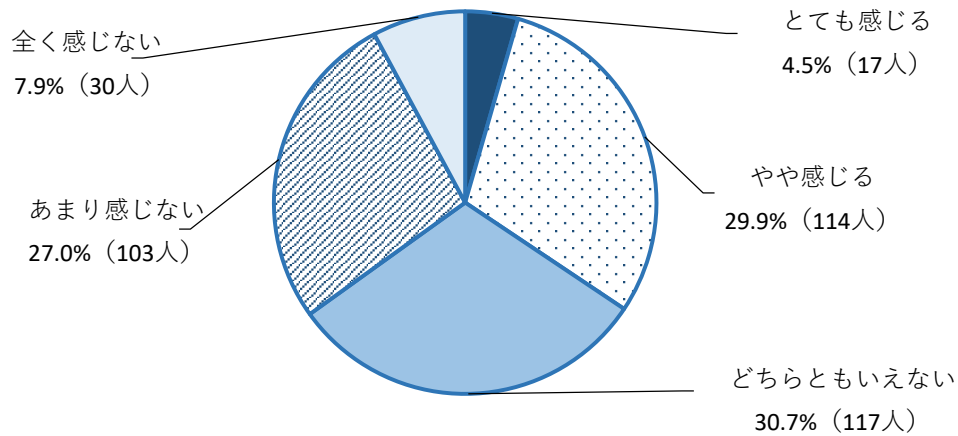
【性別】



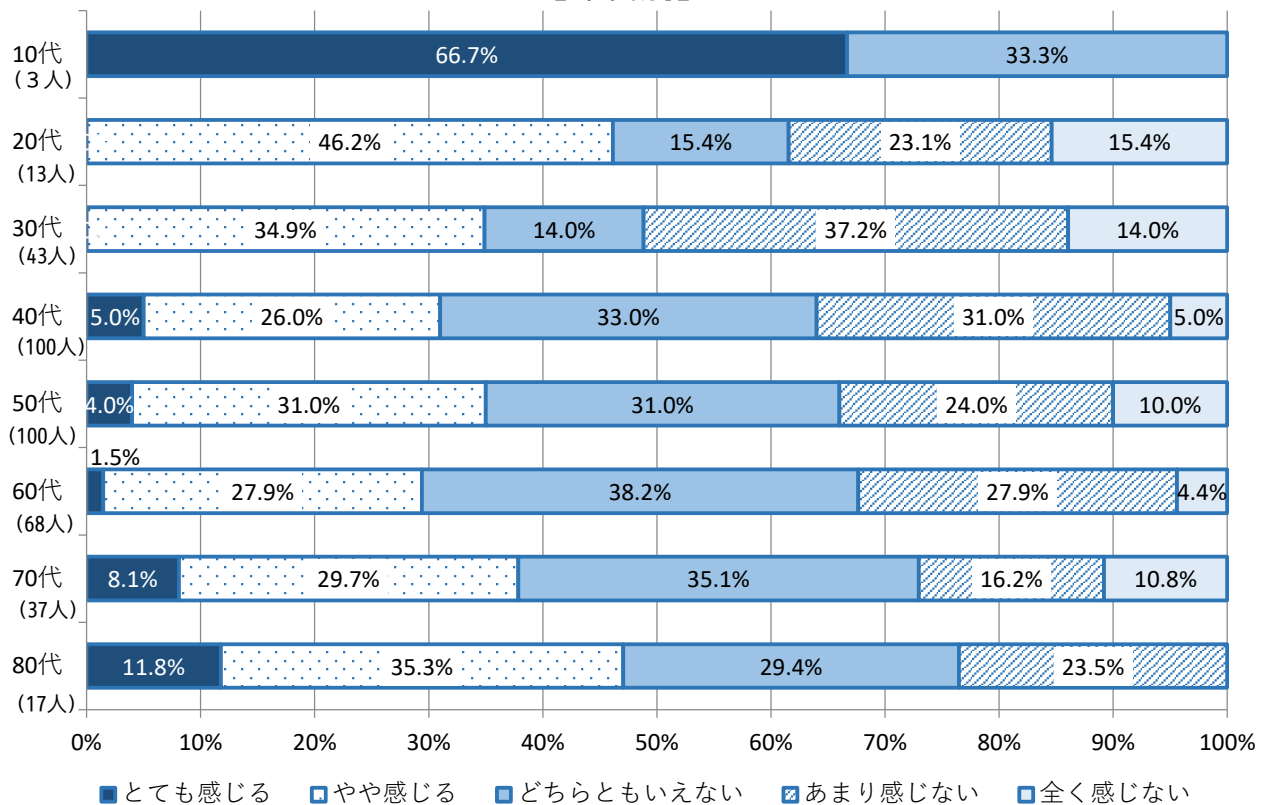
歩いて楽しいと感じることができるかについて、全体の37.0%が「感じる」と回答した。
30代では「まったく感じない」と回答した人の割合が18.6%と高く、約半数の人が「感じない」と回答しており、ほかの年代に比べ10%以上差があった。

問9 まちなかに魅力を感じますか？（1つ選択）

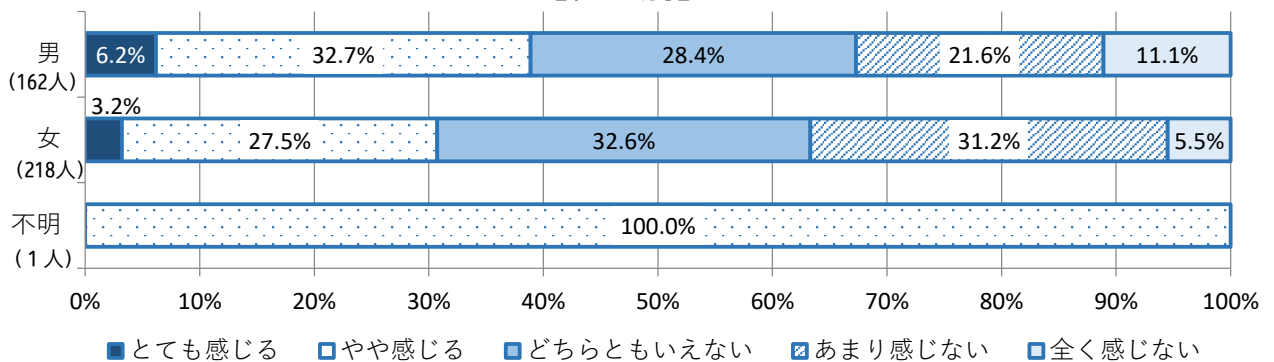
（回答者：381人）



【年代別】



【性別】



魅力を感じるかについて、全体の34.4%が「魅力を感じる」と回答した。
30代では「あまり感じない」と回答した人の割合が37.2%と高く、問8同様に約半数の人が「感じない」と回答しており、ほかの年代に比べ10%以上差があった。

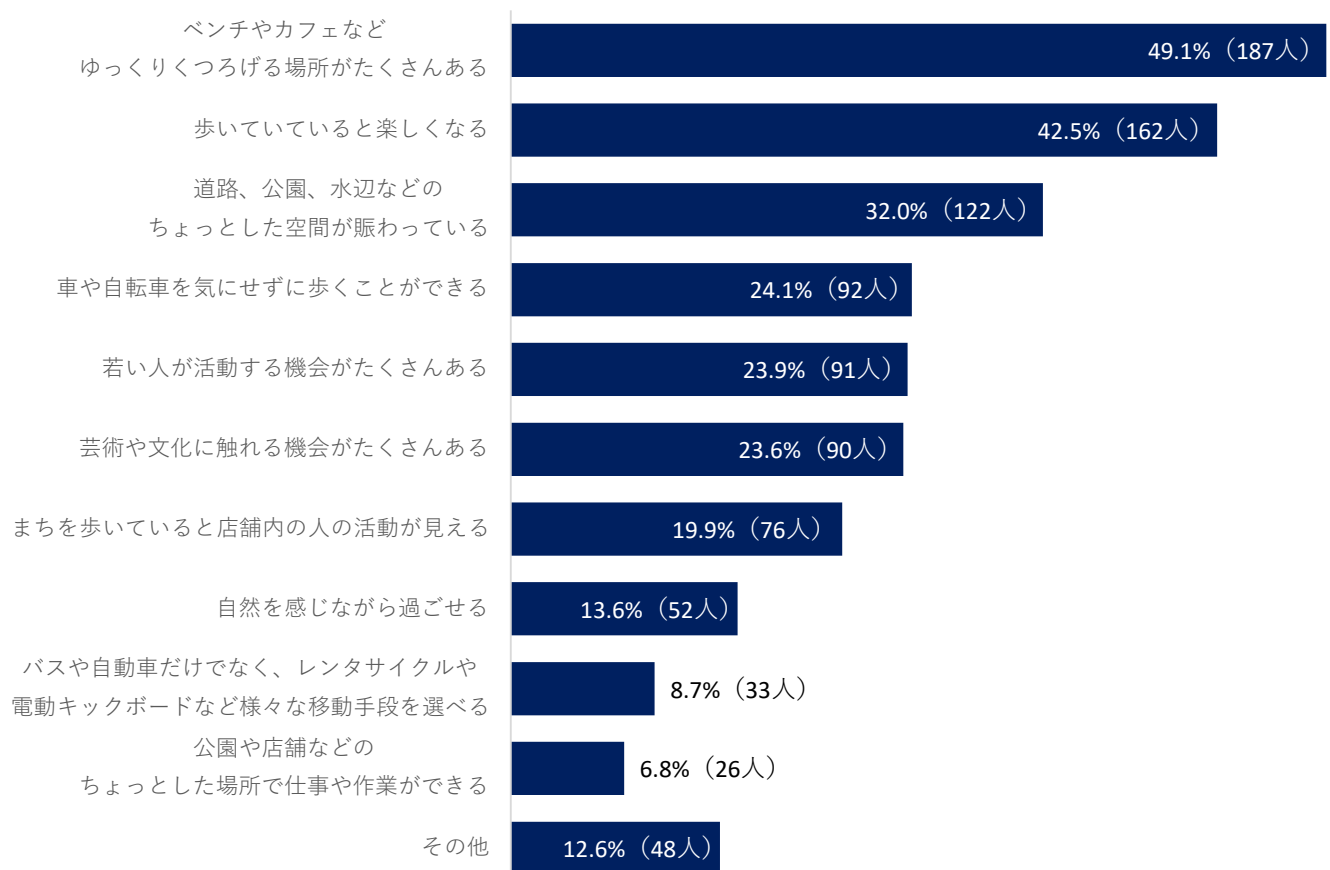
問10 問9の回答理由を具体的に記入してください。（自由記述）

（回答者：154人）

【とても感じる】
・ ファッションや飲食店、映画館など沢山楽しめる場所があって楽しいから（40代・女性） ・ デパートがあるから（50代・男性）
【やや感じる】
・ 週末など駅前でイベントをやっていることが多く、賑やかでよいと思います（30代・男性） ・ 駅前にしかない店舗や飲食店があるから（40代・男性） ・ 買い物、ウインドショッピング含めみて回るのは楽しい（60代・男性） ・ 交通の便がよく店がそろっている（70代・女性）
【あまり感じない】
・ 子どもが遊べる場所などがないため（20代・女性） ・ 安価な駐車場が少ない、子供と遊べるような施設が少ない（30代・女性） ・ 魅力的な店舗やイベントが無い（50代・男性） ・ 駐車料金を払ってまで、ブラブラ見て歩きたいとは思わない（60代・女性）
【全く感じない】
・ 夜は暗い道が多い、駅前はただの夜のお店、親子で楽しめるところが少ない（20代・男性） ・ 駐車場代を出してまでの価値がない（50代・女性）

問11 今後まちなかに必要だと思う魅力をお答えください。（3つまで選択可）

（回答者：381人）



※「その他」を選択した方の主な意見

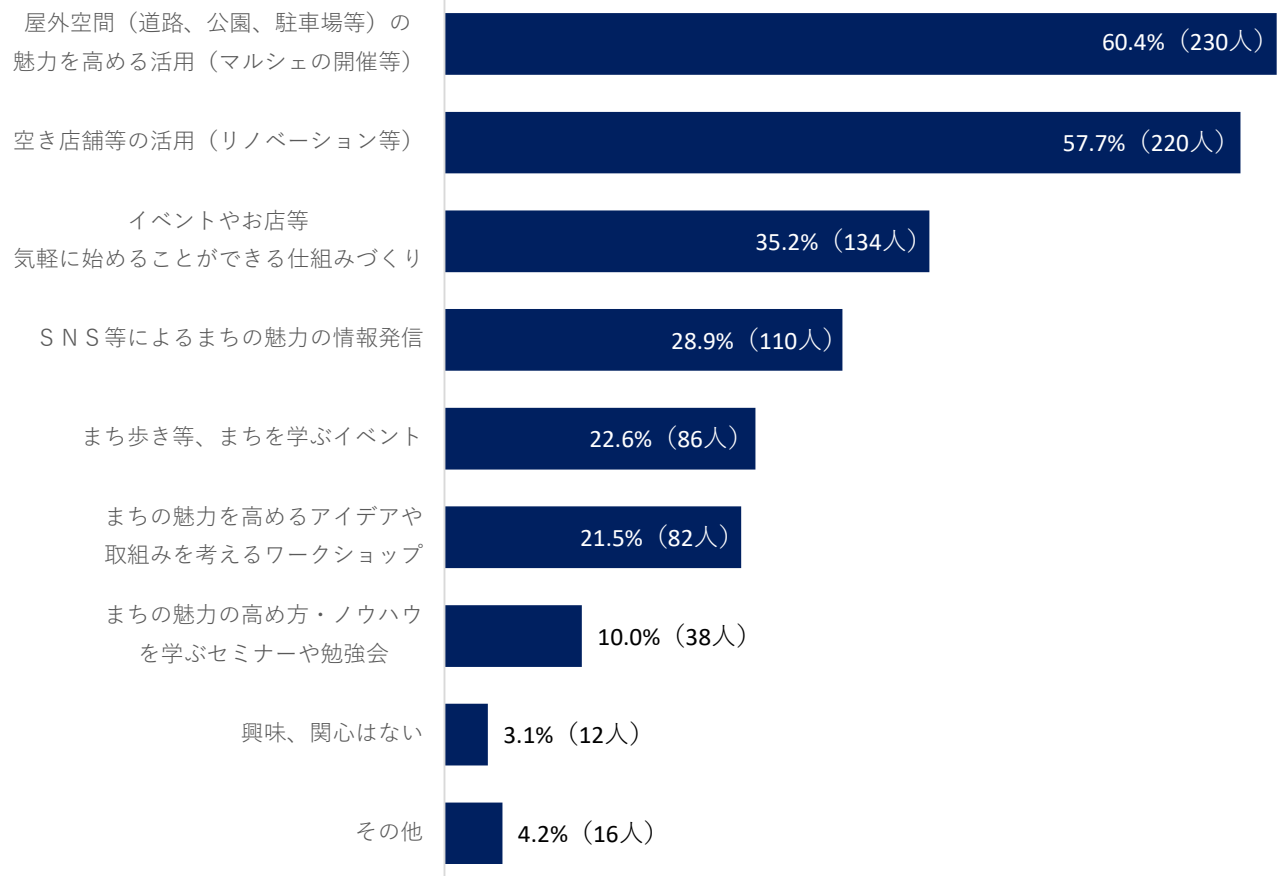
- ・ 無料駐車場
- ・ 魅力的な店舗やイベントの開催
- ・ 勧誘の人がいないこと など

まちなかに必要な魅力について、約半数が「ゆっくりくつろげる場所」と回答した。また、「歩いていると楽しくなる」「車や自転車を気にせずに歩くことができる」の割合も高く、歩いて暮らせるまちづくり実現を図る必要があると分かった。

第3章 まちづくりについて

問12 興味・関心のあるまちづくり（まちなかの活性化や再生を図る活動）はなんですか？
（3つまで選択可）

（回答者：381人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ 楽都らしくミニコンサートなど音楽活動
- ・ 子どもと一緒に過ごせるスペース作り
- ・ 駅前広場やアーケードで蚤の市を定期的を開催する など

興味・関心のあるまちづくりについて、屋外空間及び空き店舗等の「活用」についてそれぞれ約半数の人が回答した。次点の「仕組みづくり」含め、目に見えるまちの変化に繋がる活動に関しての項目が上位の回答となった。

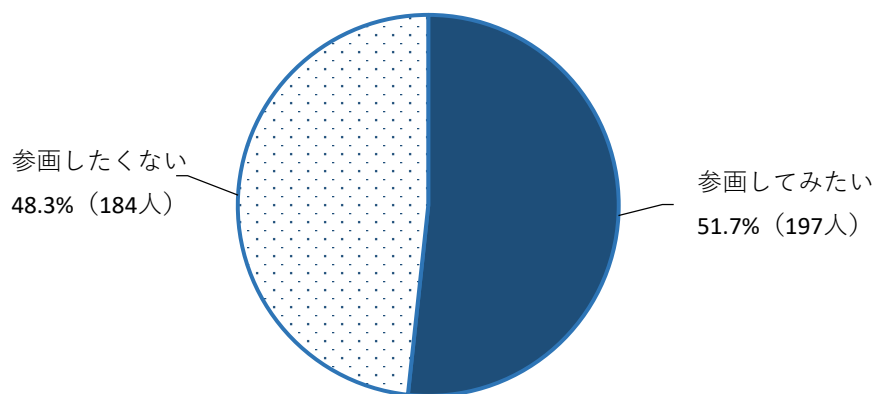
問13 問12で「興味、関心はない」とお答えの方に質問です。
どのようなきっかけがあれば興味をもてますか？（自由記述）

（回答者：9人）

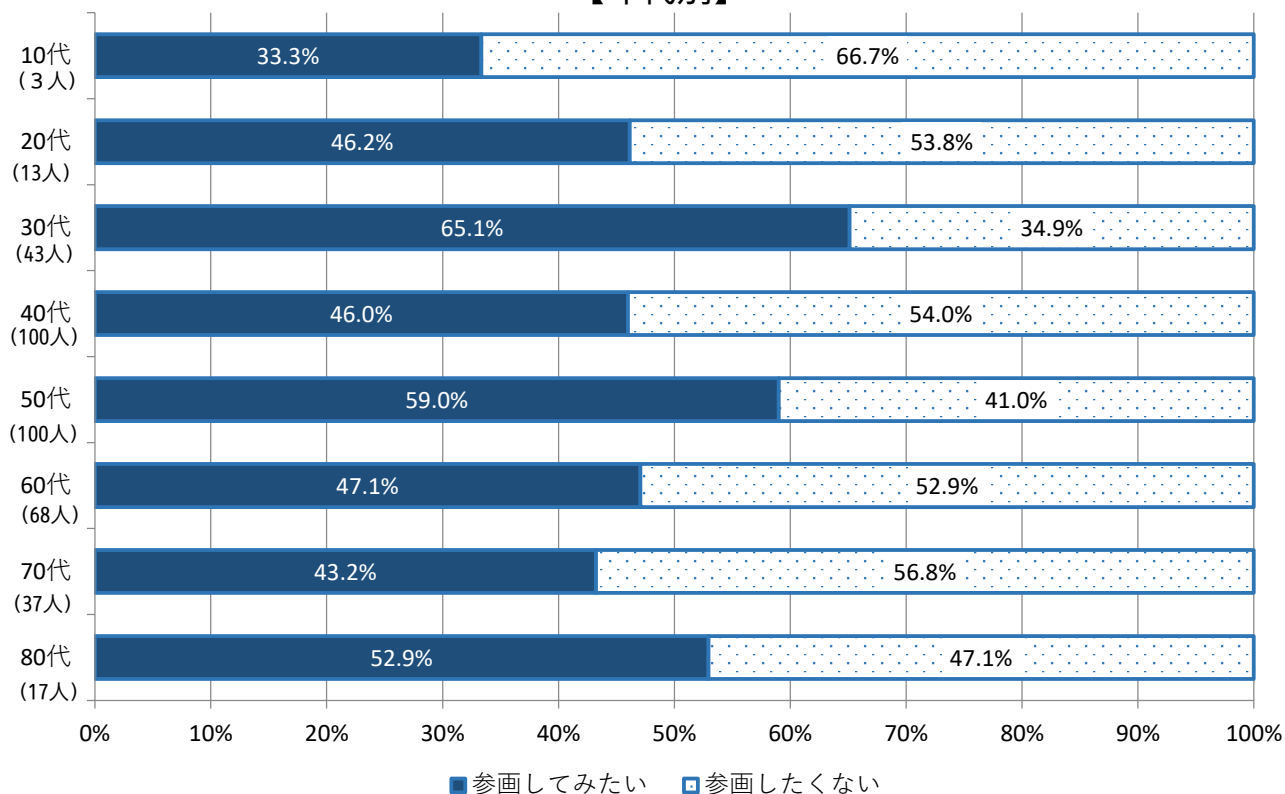
- ・ まずは気軽に停められる駐車場
- ・ 祭りやイベントの際の駐車場が整っていれば良い
- ・ どのようなきっかけも何も関心がない など

問14 まちづくりに実際に参画したいと思いますか？（1つ選択）

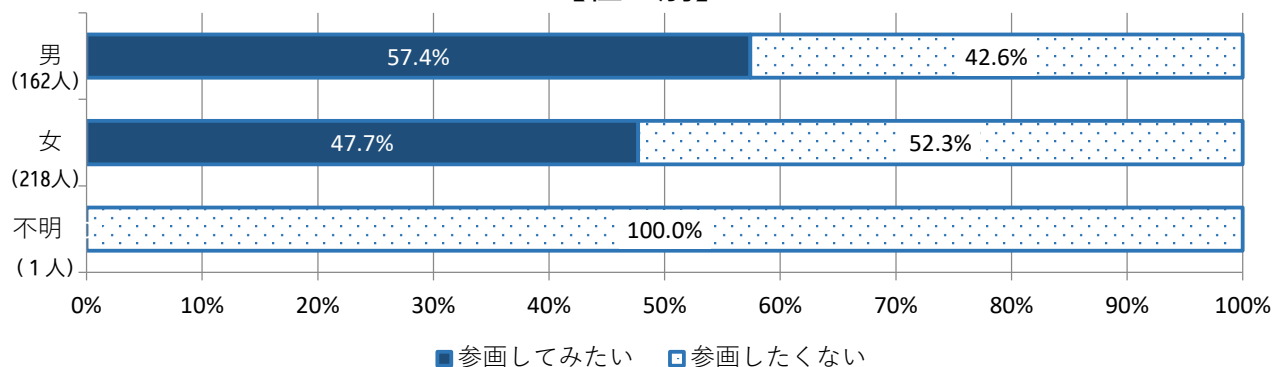
（回答者：381人）



【年代別】



【性 別】



まちづくりに実際に参画したいかについて、回答はおよそ半々となった。年代別では30代、性別では男性が「参画してみたい」と回答した人の割合が高かった。

問15 問14の回答理由を具体的に記入してください。（自由記述）

（回答者：199人）

【参加してみたい】

- ・長く住み続けることができるまちになって欲しいから（30代・女性）
- ・未来の子供達が暮らしやすい環境づくりをしたいです（40代・男性）
- ・生まれ育った郡山を魅力的な街にしたいから（50代・女性）
- ・市民が知恵を出し合って、人口50万都市を実現したい（60代・男性）
- ・若い人も高齢者も集い楽しめる街になったら、もっと活気あふれる街になるとおもう（70代・男性）
- ・まちなかの活性化を体験したい（80代・男性）

【参加したくない】

- ・仕事や育児で忙しいため。（20代・女性）
- ・何かしたいと思うけど具体的なアイディアは何も浮かばないから（30代・女性）
- ・興味はあるが、時間の確保が難しそうだから（40代・女性）
- ・活性化が難しく感じるので（50代・男性）
- ・これからの若い人たちの考えを中心にまちづくりをしていって欲しい（60代・女性）
- ・高齢であることと、まちなかとの結びつきがそんなに強くないから（70代・男性）

問16 まちなかは、これからどうなしてほしいと思いますか？
ご自由にお書きください。（自由記述）

（回答者：216人）

【10代】

- ・もう十分に発展しているが、もっと発展して欲しい（女性）

【20代】

- ・まず、歩き辛い。道路の凹凸が多い。ベビーカー押しづらい。雑草が生い茂っている。水たまりの箇所が多い。車の運転が粗暴。車線も複雑（急に一車線とか）（男性）
- ・どこの県に行くにも遠い市だからこそ若い人が好むようなおしゃれな街になって欲しい（女性）

【30代】

- ・賑わいもそうだが、高齢化が進む今だからこそお年寄りが外出する理由にしたいくなる過ごしやすいまちなかになって欲しい。（女性）
- ・空洞化せず、空き地が駐車場ばかりにならない市。（男性）
- ・治安のいいまちなかになってほしい、夜は危なすぎるので。（女性）
- ・街中を歩いていても閉店しているお店が多く、居酒屋等ばかりで魅力的なお店が少ない。黒磯のようにおしゃれな雑貨屋さん、服屋さん、カフェなどが点在するといい。（女性）
- ・気軽に行ける場所、駐車場の無料時間をつくる。
親子でゆっくりできるスペースや遊べる空間。（女性）

【40代】

- ・駅前に必要以上に駐車場が多い気がする。お店を増やして活性化して欲しい。（男性）
- ・中高生が魅力的に感じるような、居場所、交流場所の提供。（女性）
- ・様々な年代が集う場。ストリートミュージックとかやって盛り上げてほしい。（女性）
- ・治安が良く、夜でも安心して歩ける駅前になってほしいです。（男性）
- ・大人だけでなく、子供連れでも楽しめるようなスペースや飲食店が増えてほしい。
あとは、駐車場のサービスがもう少し充実していると時間を気にせず遊びやすい。（女性）
- ・年代を問わず、安心して過ごせる空間であってほしい。
そのためには、問11の項目にあるような内容を備える事が必要かと感じます。
尚、近年夏場の陽ざしが強く、熱中症患者も増加しているため、まちなかには、ミストステーション的な避暑設備を設置される事が必要かと強く思います。（男性）
- ・夜も明るく安心して歩けるような雰囲気にしてほしいです。
それから、交通便を良くして欲しいです。（女性）
- ・子どもからお年寄りまでどの世代の人も安心して過ごせる場所になって欲しい。（女性）

【50代】

- ・ 郊外住民の高齢者や未成年者が、安全に安価で、自分で行くことができる市営トラム（路面電車）があったなら、人が集まり、文化が生まれると思います（女性）
- ・ マルシェなど、イベントの開催も良いと思いますし、子供が親と過ごせる場所があると家族連れが集まるのではないかと思います（女性）
- ・ 郊外に集まるのはどこの地方でも同じですが、まちなかに車で行って駐車場から回遊できるような取り組みができればもっと賑わいが出るのでは（男性）
- ・ 福島市のももりんレンタサイクルのように、より大きな規模でレンタサイクルステーションを展開し、乗り捨てができるようなシステムができるといいと思います。（女性）
- ・ 福島市のように駐車場を共通にして、利用しやすいようにして欲しい。他の市町村に比べて観光資源がないので、街中が代わりになるような個性ある場所になって欲しい。（女性）
- ・ 10代20代の若い方が先導して、新しい視点からアイデアを実現して欲しいです。空きスペースがたくさんあるので活用して下さい。（女性）
- ・ 都会にはない魅力ある街になって欲しい。（男性）
- ・ 老若男女が楽しめる場所やシネコンなどの施設があれば…
駐車場も高すぎて郊外のショッピングセンターで間に合わせることが多いので…（女性）
- ・ 先ずは夜の治安が早く良くなるよう願っているのと、休日等に気軽に立ち寄れるカフェや屋台のような区画があっても良いのかなと思う。（女性）

【60代】

- ・ 安心安全。空地等の有効利用。駐輪場の増設。（男性）
- ・ 車で気軽に行けるようになってほしい、駐車料金が気になる。（女性）
- ・ 無料駐車場がないため、買い物等郊外を利用するようになってしまう。
駅の駐車場の乗降もいつも混んでいて、家族を迎えに行くのも不便。
駐車場確保（2時間無料）が必要だと思います（女性）
- ・ 空き店舗が多くなっていますが、それらを有効活用できる様になると良いなと思っています（女性）
- ・ くつろげる場所が沢山ある町（女性）
- ・ 田舎の都会は卒業し垢抜けした都会らしい都会に発展して欲しい（男性）
- ・ 気軽に歩いて、ホッとできるスペースがあったり見たりできるようなお店があるといいなと思います（女性）
- ・ 昔のような活気がある街並みになってほしい。有料駐車場が多すぎる。
人が集まる店がたくさん欲しい（男性）

【70代】

- ・ 歩行者天国みたいに、路上に店舗、ベンチ等があり、楽しさを感じさせる。（男性）
- ・ 車社会で駐車場を払ってまで行く理由はありません目的は駅ぐらいです。
出来れば渋滞なく駅や、周辺に行ける様になってほしいです。（男性）
- ・ 老若男女、皆が集い楽しめる催しの開催があると良いと思います。（女性）
- ・ 駅前アーケード等にて、音楽都市に見合った個人や、グループ等の野外演奏会を開催出来る様に、場所を提供し若者たちが集う事が可能にしては。宇都宮市の駅周辺の様に。街中広場の提供。（男性）

【80代】

- ・ 公共交通機関を充実させて、自家用車が無くとも楽に訪れることができる環境が欲しい（男性）
- ・ 色々な店があり寄って見るのも楽しくなる。散歩感覚でも楽しめる。（男性）
- ・ 誰でもが、安心して、楽しい時間を過ごせるような場になってほしい。（男性）